KONICA MINOLTA

適用機種：販売モデルは地域により異なります。

カラー機（CL）	C14010シリーズ、C5080シリーズ、C8100シリーズ
モノクロ機（BW）	---

オペレーションクイックガイド - No. 12 -

自動検品（AI-101）

別冊：ジョブ間シーケンシャル確認（UK-312）

※事前に「オペレーションクイックガイド No.12
別冊：検査領域設定」をごらんください。

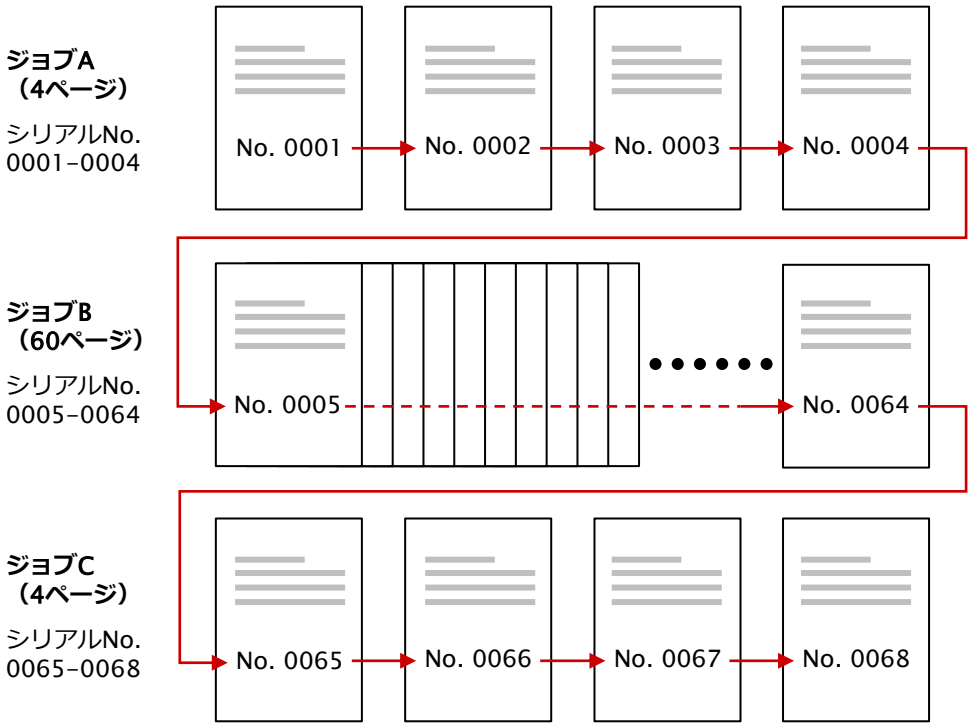
Ver. 01.02

1 ジョブ間シーケンシャル確認

1-1. ［ジョブ間シーケンシャル確認］とは

［ジョブ間シーケンシャル確認］とは、ジョブを跨いだシリアルNo.やバーコードの連番（昇順や降順）を確認する機能です。大ロット印刷でPDFを分割して印刷する場合、2重で印刷したり、印刷の順番の入れ違いを防ぐことができます。

連番が正しくなかった場合、給紙が停止して、本体タッチパネル上に印刷中止のポップアップが表示されます。



重要

［ジョブ間シーケンシャル確認］を行う場合は、各ジョブに以下の領域を設定する必要があります。

- ［領域種別選択］：［バーコード領域］もしくは［シリアルNo.領域］
- ［対象面選択］：［表面］（［表面］のみを検査します。）
- 領域No.：［No.1］（No.1のみを検査します。）
- ［シーケンシャル確認］：［ページ間確認（同一領域のみ）］

＊［バーコード領域］、［シリアルNo.領域］を使用するには、UK-312が必要です。

1 ジョブ間シーケンシャル確認

1-2. ［ジョブ間シーケンシャル確認］の実施手順

1. 自動検品に関連する事前設定をする

2. 各ジョブの基準画像を登録する

［ジョブ間シーケンシャル確認］の対象となるジョブについて、基準画像の登録を行います。

3. 基準画像に領域を設定する

手順2.で登録した基準画像に領域を設定します。
［ジョブ間シーケンシャル確認］の対象箇所に下記の領域を設定します。

- **［領域種別選択］**
  ［バーコード領域］もしくは［シリアルNo.領域］
- **［対象面選択］**
  ［表面］（［表面］のみを検査します。）
- **領域No.**
  ［No.1］（No.1のみを検査します。）
- **［シーケンシャル確認］**
  ［ページ間確認（同一領域のみ）］



重要

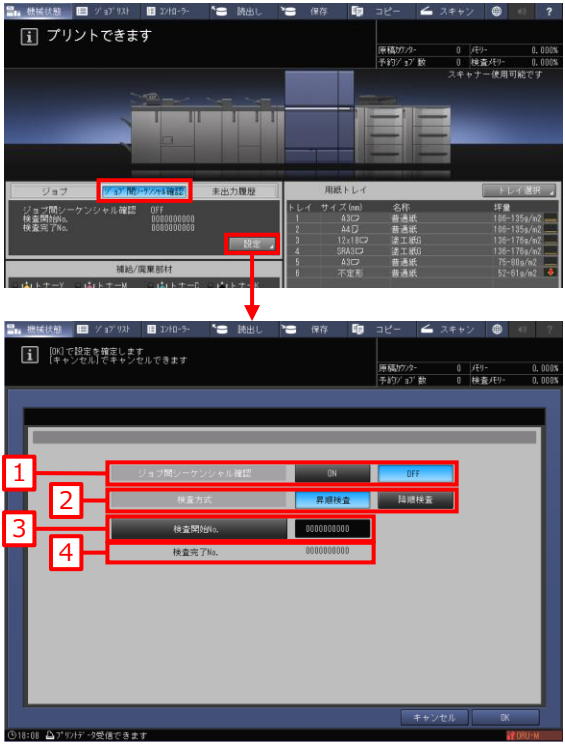
［バーコード領域］、［シリアルNo.領域］を使用するには、UK-312が必要です。

参考

［RIP画像で検品］で自動検品を行う場合は、検査領域設定プロファイルを登録してください。

1 ジョブ間シーケンシャル確認

4. 本体タッチパネルの［機械状態］画面で［ジョブ間シーケンシャル確認］を設定する
［ジョブ間シーケンシャル確認］タブを選択し、［設定］を押して、［ジョブ間シーケンシャル確認］の設定をします。

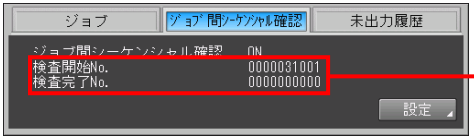


No.	名称	説明
1	［ジョブ間シーケンシャル確認］	［ジョブ間シーケンシャル確認］を行うときは［ON］にします。 ［ジョブ間シーケンシャル確認］を行わないときは、誤動作しないように［OFF］にしておきます。
2	［検査方式］	シーケンシャル確認を昇順で行うか、降順で行うか選択します。
3	［検査開始No.］	シーケンシャル確認を開始する番号を入力します。 ［検査開始No.］を押すと番号入力画面が表示されます。 ここで入力した番号は、機械状態画面にも表示されます。 ジョブ実行時は、「2」の［検査方式］の設定に従って、検査するたびに［検査開始No.］が自動で1つ繰り上がり（繰り下がり）ます。
4	［検査完了No.］	検査が完了したNo.が表示されます。

1 ジョブ間シーケンシャル確認

5. 手順3.で領域設定した基準画像または検査領域設定プロファイルを使用して自動検品を実施する

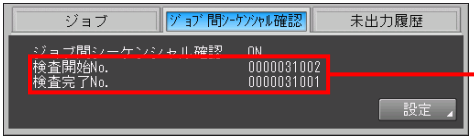
シーケンシャル確認を行う順番でジョブを印刷します。印刷された番号が、本機で検査されるたびに機械状態画面の［検査開始No.］と［検査完了No.］が自動で更新されていきます。



昇順検査で、検査開始No.の「31001」が検査された場合

［検査開始No.］
検査する番号が表示されています。
表示されている番号の検査が完了すると、次に検査する番号に自動で更新されます。
- 昇順検査の場合：検査開始No. +1
- 降順検査の場合：検査開始No. -1

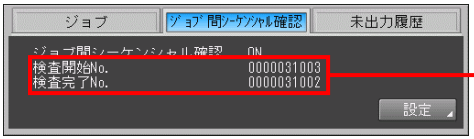
［検査完了No.］
検査が完了した［検査開始No.］の番号が表示されます。未検査の場合は「0000000000」と表示されます。



続いて、「31002」が検査された場合

［検査開始No.］
元の番号の「31001」に「+1」した「31002」が表示されます。この番号が次に検査する番号となります。

［検査完了No.］
検査が完了した［検査開始No.］の「31001」が表示されます。



［検査開始No.］
元の番号の「31002」に「+1」した「31003」が表示されます。この番号が次に検査する番号となります。

［検査完了No.］
検査が完了した［検査開始No.］の「31002」が表示されます。

重要

検査可能な番号は、0-4294967295までです。
- 昇順の場合：「4294967295」の次に検査する番号は「0」になります。
- 降順の場合：「0」の次に検査する番号は「4294967295」になります。

MEMO

MEMO

MEMO

© 2025 KONICA MINOLTA, INC.